



**Sho Takemitsu Office**

-Enjoy your life as you like.-

【「英たの」塾】

「英たの」五箇条

講師：竹満 祥

第一箇条：楽しいから身につく。好きだから身につく。

第二箇条：やり方にこだわらない。

第三箇条：学ぶのではなく感じる。

第四箇条：評価しない。競わない。

第五箇条：強制しない。

【はじめに】

今回は「英たの」五箇条ということでお話をさせていただこうと思います。

「英たの」というのは、「英語は楽しく好きなように身につけよう」の略のことで、私が提唱している概念です。

「英語を楽しく身につけよう」って響きがすごくいいですね。

「じゃあ、今日から皆さん、英語を楽しく好きなようにやってください」といった場合に、みなさんができるかという、どうしても英語は勉強という風に思われている方が多い。

だから、一所懸命にやらないとダメとか、努力とか、根性とか、忍耐とか、そういったものが必要なのではないかなというふうに思われている方が多い。

いきなり「さあ、今日から楽しく好きなようにやってください」といってできる人はいいんですけど、できない人の方が多いんじゃないかなということで、私はこの「英たの」という概念を作るときに「英たの」の指針となる五箇条というのを作りました。

今日は五箇条の項目1つずつについてお話をさせていただこうと思います。

ただ、お話をさせていただく前に1点、気を付けていただきたいことがあるんですけど、「英たの」というのはノウハウではありません。

あくまで概念、考え方なんです。

なので、「言われた通りにやったらできますよ」というものではありません。

あくまでやり方は、これは五箇条の中にも出てきますが、みなさんが自分で見つけるもの。

そのための指針として「英たの」五箇条というのがあります。

なので、「英たの」五箇条を参考にして、自分がやっていることって「実際に勉強になっていないかな」とか、「無理していないかな」というのを、そういうのをこの五箇条を基に照らし合わせて、英語を楽しく好きなように身につけら

れるようにと、お手伝いさせていただきたいなと思います。

【第一箇条：楽しいから身につく。好きだから身につく。】

それでは、早速ですけれども第一箇条から入っていきたいと思います。

第一箇条なんですけれども、これがもういきなり「英たの」の核心部分なんですけれども、「楽しいから身につく。好きだから身につく」というのが第一箇条です。

私は、今、「英たの」という概念を提唱したり、今ここで「好きだから身につく。楽しいから身につく」というお話をしているんですけども、実際にじゃあ、私がずっと好きなように楽しく英語と触れてきたかという、決してそうではないんです。

なので、まずは英語を楽しんでいなかった高校時代、大学時代のときの話を最初にさせていただこうと思います。

私が高校生のとキッテ、私は高校生活を大学受験に捧げたといっても過言ではないぐらいに受験勉強に没頭していました。

なぜなら、私が所属していた高校というのは進学校じゃないんです。

なので、大学、みんな行こうと思っている人はいるんです。

思っている人はいるんですけど、一所懸命、勉強している人ってあまりいなかった。

ただ、私は中学校のときの成績はそんなに良くなかったんで、高校はもうこの高校に行くというが決まっていたんです。

ただ、このまま高校を出て就職とか、例えばちょっと妥協してどこか入れる大学というのが嫌だったんです。

【発行】

竹満祥事務所

【竹満祥事務所 HP】

<http://www.good-sheep.com/>

【「英たの」HP】

<http://www.eitano.com/>

【「すきだけ」日記】

[http://blog.livedoor.jp/good\\_sheep/](http://blog.livedoor.jp/good_sheep/)

【「すき本」日記】

[http://blog.livedoor.jp/sheep\\_book/](http://blog.livedoor.jp/sheep_book/)

【「英たの」メルマガ】

<http://www.mag2.com/m/0000269908.html>